

# 算数科

## 1 単位時間の指導過程の各段階に、どのような算数的活動を設定することができるか。

※ 算数的活動は、『子どもが目的意識をもって算数に関わる様々な活動』として定義付けている。

※ 算数的活動に、次のような内容が含まれる。

- 身体を使ったり、具体物を用いたりする作業的・体験的な活動
- 算数に関する課題について考えたり、算数の知識をもとに発展的・応用的に考えたりする活動
- 考えたことを表現したり、説明したりする活動

### 1 単位時間の指導過程における算数的活動(例)

| 基本的な指導過程  | 算数的活動の具体例  |
|---|--|
| <b>&lt;課題把握の段階&gt;</b><br>・ 本時の学習課題の受け止め<br><br>・ 既習内容との違いの明確化      | <b>★ 学習課題の事象を分析する活動</b><br>・ 「分かっていること」、「問われていること」などを数量の関係から明らかにする。<br><br><b>★ 既習と未習とを意識し、学習の問題点を明らかにする活動</b><br>・ 事象の意味や数量の関係を図、数直線などに表し、学習の問題点を明確にする。<br>・ これまでの学習内容と関連付け、活用できる内容を見付ける。 |
| <b>&lt;見通しを立てる段階&gt;</b><br>・ 解決方法や結果の予想                            | <b>★ 問題解決に向けて、解決の方法や結果を推測する活動</b><br>・ これまで学習してきた方法や内容を想起する。(ノート、教科書、指導内容の系統表など利用)<br>・ 簡単な数量に置き換えて、結果の大まかな見通しを立てる。  |
| <b>&lt;自力解決の段階&gt;</b><br>・ 自己の考えの明確化(既習事項の活用)                      | <b>★ 数や式、図、表、グラフ、数直線など数学的な表現を生かして思考する活動</b><br>・ これまでの学習内容を解決することに活用できないか検討する。(考えの根拠の明確化)<br>・ 友達に分かりやすく説明するための方法(図や式、数直線など)を考える。(数学的な表現の活用)   |
| <b>&lt;相互解決の段階&gt;</b><br>・ 考えの説明(ペア学習、グループ学習)<br>・ 考えの比較検討         | <b>★ 数や式、図、表、グラフ、数直線など数学的な表現を生かして、自分の考えを友達に伝え合う活動</b><br>・ 友達の考えと自分の考えとの違いや共通点を明確にする。(考えの比較検討)<br>・ 友達の考えのよさを見付け、自分の考えに生かす。<br>・ 便利さや分かりやすさなどの観点から算数のよさに気付く。(簡便性、正確性、合理性、一般性、美しさなど)        |
| <b>&lt;振り返り・まとめの段階&gt;</b><br>・ 解決方法や考え方の整理<br>・ 自己評価<br>・ 次の学習の見通し | <b>★ 自分の考えの深まりや友達の考えのよさをノートにまとめ、学習を確かめる活動</b><br>・ 自分や友達の考えのよさを簡潔に説明する。<br>・ 算数のよさについて学習したことをまとめる。<br>・ 自分や友達の学習への様子を相互に振り返り、高まりを互いに認め合う。<br>・ 次の学習や生活への見通しをもつ。                            |

※ 算数に関わる様々な活動(算数的活動)は、子どもが考えをつないだり広げたりする過程の中にもある。